



センター NEWS

Wakayama
International
Exchange
Center
News

2020年12月発行



災害時多言語支援センター設置運営訓練を8月17日に和歌山ビッグ愛大ホールで実施。
全体の講義の後、和歌山市内の避難所運営と災害時多言語支援センターの設置運営訓練を行い、避難所には、市内に住んでいる外国人が訪れ、困っていることなどを相談しました。対応した和歌山県内の市町等のスタッフは丁寧な日本語を使っている話かけましたが、コミュニケーションをとるのに悪戦苦闘していました。その後、松本氏の指導により何回も話し方を変えていくとコミュニケーションが取れるようになっていきました。

In an event of a disaster, a training of setting up and operating a multilingual support center was held on August 17 at the Wakayama Big Ai Main Hall.
After the lecture, the management of the evacuation shelter in Wakayama city and the training for setting up and operating a multilingual support center in case of a disaster was conducted. Foreigners living in Wakayama City visited the evacuation center in Wakayama City and consulted their problems. The staff of the municipalities in Wakayama Prefecture who responded spoke in polite Japanese, but they couldn't communicate well. There was struggle in communicating. After changing the way I spoke several times according to the advice of Mr. Matsumoto, I was able to communicate.

目次

- P 2 災害時多言語支援センター設置運営訓練
- P 3 インターナショナルカフェ、
日中交流奨学事業から
- P 4 グローバルセミナーから
- P 5 国際理解写真展事業、
和歌山県の国際交流だより
- P6~P7 つれもていこら和歌山
- P8 応援団通信
- P9 JICA和歌山デスクです
- P10 WIXAS コーナー
- P11~P12! Hi Hai Hola Xin Ch ào こんにちは!

和歌山県国際交流センター

〒640-8319 和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 8F
開館時間：水曜日・祝日・12月29日～1月3日を除く
毎日 10:00～18:30

Wakayama International Exchange Center

Business hours: 10:00 a.m.-6:30 p.m.
Closed: Wednesdays, national holidays,
December 29 to January 3
Address : 8th floor, Wakayama Big Ai Bldg., 2-1-2
Tebira, Wakayama City 640-8319

災害時多言語支援センター設置運営訓練

令和2年8月17日(月)に、和歌山県ビッグ愛大ホール、和歌山県国際交流センター、御坊市を会場に災害時多言語支援センター設置運営訓練を行いました。

講師には、土井佳彦氏(クリア災害時外国人支援アドバイザー)、松本義弘氏(クリア災害時外国人支援アドバイザー)にお越しいただき、新居みどり氏[特定非営利活動法人 国際活動市民中心(CINGA)]にはWebで参加していただきました。

参加者は60名。(※web参加者、研修・訓練参加者、見学者のいずれも含む)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、三密を避けることを心がけながらの支援となるため、今までの研修を基礎に、新しいかたちの災害時多言語支援センターの在り方を探りつつ進めました。健康状態申告書の提出と検温を全参加者が協力し、事業を実施しました。

訓練では、南海トラフ地震による津波被害を想定し、和歌山県御坊市を被災地と想定。(和歌山県が)設置した災害多言語支援センターで、近畿ブロック内の協会職員をはじめ、和歌山県内8市町の職員が、センター運営訓練、避難所巡回訓練を実施したほか、センターと被災地(御坊市)をZoomでつないで、対応できない言語を話す外国人を支援する等、より実践的な訓練を実施しました。それぞれの立場で災害時の外国人支援について学ぶ機会となり、少なからず参加者間の顔の見える関係づくりの機会となりました。

今回の研修で学んだ知識・経験をそれぞれの所属先で活かしつつ、一般社団法人自治体国際化協会の地域国際化推進アドバイザー制度や、各種マニュアル・ツールなども活用いただきながら、災害時の外国人支援に関する取り組みを着実に一歩ずつ前進させていただくことを期待しています。



参加者全員への検温



講演を聴く参加者



和歌山市内の避難所の様子



多言語支援センターの情報班



多言語支援センターの相談班



御坊市の避難所の様子

インターナショナルカフェ 「One World」 on Zoom

10月18日（日）インターナショナルカフェ「One World」 on Zoom を開催しました。

初めてのオールオンライン開催ですが、12カ国・地域の計47名の方が民族衣装などを身にまとい参加しました。

アメリカ・フロリダ州出身のデイビッド・ヒルストン氏より「世界の多様性」について、ご自身のルーツや日本に対する思い、日本での様々な体験などを楽しく語っていただきました。

第2部トーク交流会では、和歌山大学国際連携部門のご協力を得て、フランス、エジプト、タジキスタンなど8名の留学生などがそれぞれのグループにて出身国・地域について紹介し、地域の方と交流を楽しみました。さらに、コスタリカ出身の田中ヒロユキさん、ベロニカさんご夫妻に、素敵なコスタリカの民族舞踊を披露していただきました。

最後、参加者全員で「We are The World」（英語版）♪を大合唱しました。パソコンなどの画面越しでも、心の繋がりをしっかりと感じられたひと時でした。



写真は加工しています

日中交流奨学事業 「中国語で小説を読もう！」

中国の小説「天下無賊」を原語で楽

しんでいただくために、7月18日

（土）より、10回シリーズの講座を

スタートしました。

中国山東省出身の康^{かん} 思^{すす} 氏を講

師に迎え、対面式受講と Zoom に



よるオンライン受講を同時に開催し、

原語ならではのリズム感や表現を楽し

みながら、音読したり翻訳したりして

物語を読み進めていきます。



グローバルセミナー シャーリーさんに聞く♪カナダ・中国・ハロウィンの話

10月3日(土) 13:30~15:00 中国天津生まれ、カナダ育ちのシャーリー・チャンさんから、カナダ・中国と両国のハロウィンのお話をいただきました。対面とオンライン参加の両方で実施し18名の方々が参加されました。ハロウィンのワンポイント衣装を着けた参加者の方々全員でグループトークや、O×クイズをしました。O×クイズ全問正解者には、シャーリーさんから素敵なカナダのプレゼントがあり、久しぶりの交流プログラムをととても楽しんでいただきました。



🍁 10月25日に「途上国に寄付してみたら Part II～」を開催 🍁

日本の政府開発援助（ODA）は、1954年10月コロンボ・プラン（*）に加盟したことから始まりました。日本政府はコロンボ・プラン参加を閣議決定した10月6日を「国際協力の日」と定めています。

グローバルセミナーでは、この「国際協力の日」にちなんで、家庭の中からできる身近な国際協力の支援活動を再度見直す機会を提供しました。

今回はオンラインと国際交流センターを会場に、ハイブリッドで開催しました。

講師には認定NPO法人開発教育協会（DEAR）八木亜紀子さんをお迎えし、参加者がグループに分かれて自己紹介をしました。その後、2001年と2016年の「人間開発報告書」（UNDP）でレポートされた6種類の統計から「15年前の世界と今の世界」で、人口や5歳未満児の死亡率（100人あたり）、成人識字率（文字の読み書きや基本的な計算ができる大人の割合）など数字から世界の状況を各グループで考えてもらいました。

参加者からは数字から見える世界の現状をリアルに感じられたことや15年後をイメージするきっかけになったことなどの意見をいただきました。

このワークの後、未来について考えていただき、コロナ禍後の世界がどのようになっていくのか、SDGsの具体的な数値改善を知れたことなど参加を通して未来の国際協力への意識を高めていただきました。🍁



*コロンボ・プランは、1950年に提唱された、アジアや太平洋地域の国々の経済や社会の発展を支援する協力機構のことで、第二次世界大戦後もっとも早く組織された、開発途上国のための国際機関です。日本もその正式加盟国の一員として、1955年から研修員の受け入れや専門家の派遣といった技術協力を開始しています。（JICAホームページより抜粋）

母なるまなざし

国際理解を推進する目的で、移民展や国際理解写真展を実施する本事業。今回は JICA 海外協力隊の経験をお持ちの写真家 川崎芳勲(かわさきよしひろ)さんの写真 18 点とエッセイ 14 点の展示を行いました。テーマはウガンダ共和国でご自身が感じた母性をテーマに、ウガンダの子育てや家族のつながりをご自身のご経験と感性で紹介くださいました。9月27日から11月1日までの期間、101名の方に当センター会場の展示を見ていただきました。展示開始日にはご本人によるトークライブを実施し、会場参加とオンライン Zoom による参加の二つの方法を取り入れました。

また、コロナ禍の中、会場に来られない方や遠方の方にも本企画を楽しんでいただけるよう、【オンライン写真館】を企画。川崎さんご本人が、写真やエッセイ作りに至ったエピソード等を交えながら作品を紹介の様子を観ていただけるよう工夫しました。オンライン写真館は当面の間、右記 QR コードよりご覧いただけますのでぜひ興味を持たれた方はご覧ください。

共催：JICA 関西、わかやま JICA ボランティア応援団

<https://www.youtube.com/channel/UC80XGuPVjUrTey1PAuNYTI>



母なるまなざし オンライン写真館

和歌山県庁からのメッセージ

アジア・オセアニア高校生フォーラムを開催

和歌山県では、本県の高校生が、世界共通の様々な問題についてアジア・オセアニアの高校生と英語で意見を交わすことで、グローバルな視点で物事を捉え、国際社会で活躍できるリーダーを育成することを目的として、平成27年度から毎年開催しています。今年度は、新型コロナウイルスの影響もありウェブ会議形式で開催しました。

7月29日から3日間開催された当フォーラムには、海外から18の国と地域から各1名、県内から21名、県外から5名の計44名の高校生が参加し、活発な意見交換が行われました。

このフォーラムで多くの参加者と意見を交わし、友情を育んだ生徒達が、よりよい世界をつくりあげる人物となってくれることを期待しています。



つれもていこら和歌山



このコーナーでは、田辺市熊野観光ツーリズムビューローから和歌山の観光地を多言語で情報発信します。

In this section, the information on sightseeing spots in Wakayama which are provided by Tanabe City Tourism Bureau will be shared in some different languages.

田辺市熊野観光 Tourism Bureau 用多种语言为各位介绍和歌山县的观光景点。

Sa seksyong ito, ang impormasyon sa mga mapapasyalan na lugar sa Wakayama na ibinigay ng Tanabe City Tourism Bureau ay ibabahagi sa ilang wika

Góc giới thiệu về du lịch của thành phố Tanabe.

Thông tin địa điểm tham quan du lịch của Wakayama được giới thiệu bằng đa ngôn ngữ.

田辺市の街なか観光について

田辺市沿岸部は、熊野古道中辺路と大辺路の分岐点にあったことから、熊野詣が盛んになった平安時代中期より熊野三山への宿場町、水陸交通の要衝として栄えたことから、今日においては、これらの歴史や史跡を辿るまち歩きを楽しむことができます。

JR紀伊田辺駅からほど近くの北新町商店街には、中辺路と大辺路を分ける「道分け石」が立ち、昔の往来を偲ばせます。ここから大辺路方向に約600m進んだ先にある世界遺産鬮雞神社は、熊野三山の別宮的存在として熊野信仰の一翼を担いました。また、武蔵坊弁慶ゆかりの神社として、勝運導きのご利益があることでも知られています。会津川を西に越えた江川地区には、海岸線に別れを告げて中辺路に向かう熊野詣の人々が、最後に潮垢離（海水で身を清めること）をとったされる「潮垢離場跡」があり、現在では、実際に潮垢離体験ができる場所として、扇ヶ浜に「扇ヶ浜潮垢離場」が設置されています。

About sightseeing in the City of Tanabe

Since the coastal area of Tanabe City was at the junction of Nakahechi and Ohechi on the Kumano Kodo, it was a post town to Kumano Sanzan from the middle of the Heian period when Kumano pilgrimage became popular, and because it prospered as a key point for land and water transportation, today you can enjoy its history and walking around the historic sites.

In the Kitashinmachi shopping district, which is close to JR Kii-Tanabe Station, there is a "road dividing stone" that separates Nakahechi and Ohechi, a reminiscent of the old traffic. The World Heritage Tokei Jinja Shrine which is about 600 meters ahead from here in the direction of Ohechi, played a part in the Kumano faith as a separate shrine of Kumano Sanzan. As a shrine related to Musashibo Benkei, it is also known to have the benefit of the guidance to good luck. In the Egawa district, which crossed the Aizu Kawa River to the west, there is a "mark of Shigoriba". In the Shigoriba, the people said goodbye at the coastline and head for Nakahechi for the Kumano pilgrimage and finally took the Shigori (cleansing themselves with seawater). Nowadays, it is a place where you can experience the Shigori, and the Ogihama Shigoriba is installed in Ogihama.

田边市内的观光

由于田边市的沿海地区位于熊野古都的中边路和大边路的分歧点，平安时代中期开始盛行熊野参拜时，成为前往熊野三山的驿站和水陆交通的要点而繁荣起来，正因为如此，如今我们才能享受追溯这些历史和遗址的城市漫步。

在 JR 纪伊田边站附近的北新町商店街，有一块“分道石”将中边路和大边路分开，这情景不禁让人想象起当年人们来来往往的热闹场面。从这里向大边路方向前进约 600m 处，有一座被列为世界遗产的斗鸡神社，作为熊野三山的别宫，在熊野信仰中发挥了重要作用。此外，作为与武藏坊弁庆有缘的神社，以能为人们带来胜运而闻名。往西越过会津河的江川地区，有一个「潮垢离场的遗址」，是当初前来参拜的人们在告别海岸后前往中边路时，最后进行「潮垢离」（即用海水净化自己）的地方。现在，依然可以体验「潮垢离」的设施「扇ヶ浜潮垢离场」设置于扇ヶ浜。

Tungkol sa pamamasyal sa lungsod ng Tanabe

Dahil ang baybayin na lugar ng Lungsod ng Tanabe ay nasa kanto ng Nakahechi at Ohechi sa Kumano Kodo, ito ay isang post na bayan patungong Kumano Sanzan mula sa kalagitnaan ng Heian period nang sumikat ang paglalakbay sa banal na lugar ng Kumano, at dahil umunlad ito bilang isang pangunahing punto para sa transportasyon sa lupa at tubig, ngayon masisiyahan ka sa kasaysayan nito at paglalakad sa paligid ng mga makasaysayang lugar.

Sa distrito ng pamilihan ng Kitashinmachi, na malapit sa JR Kii-Tanabe Station, mayroong isang "road dividing stone" na naghihiwalay sa Nakahechi at Ohechi, isang nakapagpapaalala sa dating trapiko. Ang World Heritage Tokei Jinja Shrine na halos 600 metro ang layo mula dito patungo sa Ohechi, ay may bahagi sa pananampalataya sa Kumano bilang isang nakahiwalay na dambana ng Kumano Sanzan. Bilang isang dambana na nag-uugnay sa Musashibo Benkei, kilala rin na mayroong pakinabang ng patnubay sa swerte. Sa distrito ng Egawa, na tumatawid sa Aizu Kawa River sa kanluran, mayroong isang "marka ng Shiogoriba". Sa Shiogoriba, nagpaalam ang mga tao sa baybayin at nagtungo sa Nakahechi para sa paglalakbay sa Kumano at sa huli ay ginawa ang Shiogori (nililinis ang kanilang sarili ng tubig dagat). Ngayon, ito ay isang lugar kung saan maaari mong maranasan ang Shiogori, at ang Ogihama Shiogoriba ay nasa Ogihama.

Tham quan đường phố, Thành phố Tanabe

Phần bờ biển của Thành Phố Tanabe là địa điểm giao nhau giữa Kumano Kodo Nakahechi, và là ngã rẽ vào khu vực Ohechi. Do thuận tiện đi lại bằng đường bộ lẫn đường thủy, vì thế vào thời Heian nơi đây đã rất hưng thịnh và vô cùng nổi tiếng bởi hoạt động hành hương và lưu trú của tín đồ hành hương hướng đến Kumado Sanzan. Ngày nay, nơi đây vẫn là địa điểm thu hút khách tham quan, tìm hiểu về tín ngưỡng xưa. Xuôi theo dòng lịch sử, vừa thư thái tham quan đường phố, vừa ngắm cảnh đẹp hùng vĩ của thiên nhiên và tìm hiểu về di tích xưa.

Khu vực mua sắm Kitashimachi, gần ga Kii Tanabe tuyến JR, vẫn tồn tại “Cột đá phân đường” là dấu tích lịch sử gợi nhớ lại sự lưu thông thời xưa, đồng thời cũng là con đường phân chia Nakahechi và Ohechi. Từ địa điểm này cách khoảng 600m hướng về phía Ohechi du khách sẽ gặp Đền Tokei là một trong những Di Sản Văn Hóa Thế Giới ngày nay. Nơi đây đã từng được biết đến như một Đền thờ tách biệt, đảm trách vài trò giống như Kumano Sanzan, là địa điểm phục vụ cho rất nhiều tín đồ hành hương lui tới để cầu nguyện và thực hiện những nghi thức tâm linh. Thêm nữa, ngôi Đền này được biết đến với tên gọi khác là Đền Musashibo Benkei với ý nghĩa mang lại may mắn và tài lộc.

Trước đây, dân cư sống tại khu vực Kumano, Quận Egawa có con sông Aizu chảy qua xuôi về hướng Tây, và những tín đồ hành hương đến Kumano có một hoạt động đi xa khu vực bờ biển thuộc Nakahechi, để tắm mình trong dòng thủy triều. Hoạt động này được biết đến như nghi thức “Làm sạch cơ thể bằng nước biển” hay với tên gọi khác như 「**Thanh lọc cơ thể bằng thủy triều**」. Ngày nay, tại Ougigahama vẫn còn tồn tại khu vực dành cho khách tham quan trải nghiệm hoạt động thanh lọc cơ thể bằng thủy triều, hay được biết đến như 「Tắm thủy triều Ougigahama」.



応援団通信



青年海外協力隊 桑島佑平さん 2017年度第四次隊（建築）

派遣期間：2018年3月～2020年3月帰国

ナミビアのコリハスという町で町役場の建築職として活動し、今年の3月末に帰国しました。

現地の人たちとの交流をはじめ、大使館と合同で日本文化紹介のイベントに参加するなど、日本では経験できないとても充実した2年間を過ごすことが出来ました。また、同じナミビアで活動する隊員たちと知り合えたことも私にとって大きな財産になりました。帰国後も近況を報告したり、活動当時の話で盛り上がりつつあります。同じ苦労を経験した者同士、今後も仲良くしていきたいと思えます。

<https://www.wakajicavo.com>



仲良くなった同僚の家族とバーベキューの様子

★令和2年度総会・参与会を開催

令和2年9月15日（火）午後6時からダイワロイネット和歌山で青年海外協力隊一時帰国隊員及び帰国隊員を含む27名が出席しました。

樫畑会長のあいさつの後、JICA 関西の佐藤所長から来賓のご挨拶をいただきました。

そして、派遣国から一時帰国している澤田照子さん（ネパール 野菜栽培）、原奈央さん（サモア 小学校教育）、神崎早紀子さん（エジプト 学校保健）、西川広宣さん（モザンビーク 青少年活動）、青年海外協力隊帰国隊員の外間優海さん（ベナン 障害児・者支援）の5名の方に派遣先の任国の概要や、自分の活動の様子を各5分発表していただきました。

コロナ禍の中での会でしたが、出席者の方々は青年海外協力隊一時帰国隊員がコロナ収束後に任地国へ戻ろうとする意欲の高さに声援をおくっていました。



★和歌山県へ帰国表敬訪問

令和2年10月15日（木）2018年度第2次隊でボリビア多民族国に診療放射線技師として派遣されていた笹川恵美さん、2019年1次隊としてネパール連邦民主共和国に派遣されていましたが、コロナ禍により余儀なく一時帰国され、任期が終了された隊員の澤田照子さんが、和歌山県庁を訪問し、北山国際参事に帰国報告をされました。





ナマステ JICA 和歌山デスクです

～国際協力機構（JICA）国際協力推進員からのお知らせ～

イベント情報

■ 9 月末から約 1 か月間にわたり、和歌山県国際交流センターにて 元 JICA 海外協力隊で写真家の川崎芳勲さんのフォトエッセイ展を開催しました。今回コロナ禍での 実施ということで、会場での展示に加え、「オンライン写真館」も併催し、来館せずにお楽しみいただける方式をとりました。

オンライン限定コンテンツも加わって興味深い内容になっています。ぜひご覧ください。

【オンライン写真館】フォトエッセイ展
『母なるまなざし』



【お知らせ】 2021 年のワンフェスは オンライン開催！

■ 2021 年、第 28 回目となる西日本最大の国際協力のお祭り、ワン・ワールド・フェスティバルは今回オンラインウィークとして開催されます！

オンラインでの団体紹介、ステージ出演や動画コンテストなど盛沢山の内容です。ぜひワン・ワールド・フェスティバルのホームページをご覧ください。一緒に盛り上げていきませんか。

【実施】2/1（月）～2/21（日）

【場所】ワンワールドフェスティバル
特設サイト

【主催】ワン・ワールド・フェスティバル
実行委員会

ワンフェス実行委員会ホームページ
（参加募集要項多数あり！）



トピックス

◆SDGs をジブンゴトに～紀の川市内小学校での出前授業報告～◆

今年度から「持続可能な社会の創り手の育成」が新学習指導要領に明記されたことを背景に、教育現場においても SDGs への関心が高まっています。

紀の川市立長田小学校 6 年生の児童のみなさんは総合学習の時間を使って SDGs を通じた世界の課題と自分たちの身の回りの課題について探究学習を行っています。1 学期は JICA 国際協力出前授業を活用いただき、“ヌータン”（ニックネーム）先生によるネパールの水事情について学びました。村落部での水調達の大変さや、清潔を保つことの難しさを体感しました。2 学期のテーマは教育とジェンダーでした。公平な社会、明るい未来を創るため、SDGs を入り口にした熱心な学びはこれからも続きます。



JICA 事業紹介

民間連携事業 ～ビジネスを通じた途上国の課題解決～

従来の ODA だけでは途上国の経済・社会課題の解決への貢献に限界があるとの認識から、JICA は民間企業等のビジネスを通じた現地の課題解決を推し進めるため、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」を実施しています。事業の種類は①基礎調査②案件化調査③普及・実証・ビジネス化事業の 3 つあり、企業規模により応募できる事業や、上限金額に差があります。今年度第 2 回の公示では、現時点では海外渡航に制限が課せられている国が多くある状況を踏まえつつも、企業の皆様の海外展開に向けた着実な準備・検討を支援するべく、海外渡航を前提とした「一般型」と、渡航を前提とせず国内での調査や現地人材を活用した遠隔事業の「遠隔実施型」のいずれかを選択して応募いただけます。

詳しくはホームページをご覧ください。または下記の JICA コラボデスクへご相談ください。

（注：感染状況により公示の内容が変更となる場合があります）

公示について
詳しくはこちら



〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 7 階 709 号室

お問合せ先 担当：中嶋 悦子（Etsuko Nakashima）

✉ jicadpd-de sk-wakayamaken@jica.go.jp

ホームページ：https://www.jica.go.jp/kansai/index.html

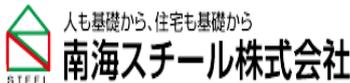
Face Book：https://www.facebook.com/jica.wakayamadesk/

令和 2 年度 賛助会員のご紹介

ご協力、ご支援を心より感謝申し上げます！

法人会員

南海スチール（株）様、協和プレス工業（株）様、
榎谷精工（株）様、（株）インテリックス様、
（株）南北様、（株）サンライズ様、（株）春風会様、
医療法人 千徳会様



団体会員

わかやま南北アメリカ協会 様、
和歌山県日韓親善協会 様、i 愛句会 様、
一般社団法人 ガールスカウト和歌山県連盟 様

個人会員

福島 三恵 様、迫間 脩 様、佐藤 真理 様、
出口 博之 様、亀井 勝博 様、北野 雅久 様、
新井 悠喜雄 様、山下 智左枝 様、並木 美矢子 様、
池内 ひろ子 様、山中 正史 様、有田 雅一様、
中尾 春美 様、水城 実 様、康 思思 様、相川 恵 様、
津田 美起子 様、匿名希望 1 名（順不同）

☆ WIXAS 賛助会員数 ☆ (2020 年 10 月 31 日現在)

法人会員数 8 法人 団体会員数 4 団体
個人会員数 18 名

◎公益財団法人和歌山県国際交流協会（WIXAS）は
賛助会員 を募集しています。

和歌山県内の各分野での国際交流活動、国際相互理解及び
国際協力を促進するとともに、在住外国人への支援を推進し
ています。ことば、民族、国境を越えて誰にでも開かれた地
域社会づくりを図り、ひいては国際社会の平和と発展に寄与
することを目的に活動しています。

ぜひ当協会の活動にご賛同ください。

《賛助会員》会費 個人 3,000 円/年、
団体 10,000 円/年、法人 30,000 円/年

★特典★：イベントのご案内/情報誌の配布
法人や団体の行事への後援など



～本を読もう！～

「星火燎原文庫」(中国の図書)コー
ナーに新しい本が仲間入りしました！
「三生三世十里桃花」、「白鹿原」、「鎮
魂」などの中国小説、日本作家東野圭
吾氏の人気小説「祈念守護人」、「解
忧杂货店」、村上春樹氏の名作「挪
威的森林」など中国語版の本が、新
着図書コーナーに陳列されています。
ぜひ一度見に来てください～



公益財団法人和歌山県国際交流協会は
30周年を迎えました！

公益財団法人和歌山県国際交流協会は
平成2年11月15日に創立しました。最
初の事務所は和歌山県庁内の国際交流課
の中にありました。平成10年に和歌山県
国際交流センターがビッグ愛にできたこ
とで、事務局をそこに移し、現在に至っ
ています。

愛称はWIXAS (Wakayama
International Exchange Association)。

11月21日(土)に記念式典を開催し
ましたので、その様子は次回のセンター
NEWS(49号)でお知らせします。
お楽しみに！



! Hi Hai Hola Xin Chào こんにちは!



たくさん^た食^くべて^てコロ^こナ^ろに^なま^まけ^けない!^いコロ^こナ^ろに^なま^まけ^けないで^て頑^{がん}張^ぱっている^が外^{がい}国^こ料^り理^りの^お店^てを^し紹^{しょう}介^{かい}し^ます。

Eat a lot and don't give in to corona!
Introducing a foreign restaurant that is doing its best without giving up because of corona.

为了不败于新冠，使劲吃！ 在这里我们为大家介绍在疫情下坚持奋斗的外国料理餐厅。

Kumain ng marami at huwag magpatalo sa corona!
Pinapakilala ang isang kainan ng pagkaing dayuhan na nagsusumikap na huwag sumuko dahil sa corona.

Đề không bị đánh gục bởi Virus Corona! Hãy bồi dưỡng sức khỏe, bằng cách ăn thật nhiều nhé!

Vì thế, chúng tôi xin được giới thiệu những cửa hàng bán thức ăn của nước ngoài cho mọi cùng người tham khảo.

タイ料理「チェンマイ」へGO!



お店をオープンして17年。和歌山市内では老舗のタイ料理屋さんです。「タイ料理はそんなに辛くないよ」と笑顔で教えてくれたのはタイ人のエミさん。初めて来店されたお客さんには「辛いのが苦手かどうかを聞くよ」と言っていたので安心です。料理を作るのは同じくタイ人のソムサクさん。料理の腕はピカイチ！現在、日本語を勉強中だそうです。



コロナウイルスによる影響で4月に2週間ほど休業。再開後も客足はあまり戻らず、特に「新しいお客さんが少なくなった」と言っていました。今でも経営的には厳しい状態が続いているようですが、持ち前の明るさで頑張っています。

お店のおすすめ料理はチムチュム鍋。タイ北東にあるイサーン地方の郷土料理で、日本の豚しゃぶに似ています。今年の冬、鍋が食べたくなったら「チェンマイ」でチムチュム鍋はいかがですか。他に、タイスキヤキ鍋もあり。ランチタイムは日替わりで2種類を提供。800円とすごくリーズナブルです。

最後にタイ語講座。「美味しいです」はアロイカップ（男性）、アロイカー（女性）。店内にあるメニュー下段に数種類のタイ語が書かれていますので是非、ご覧ください。発音はエミさんがバッチリ教えてくれます。



営業時間 11:00~14:00 (ランチタイム)
17:00~12:00 (ディナータイム)
定休日 日曜日 (祝祭日は営業)
最寄駅 JR 和歌山駅 (徒歩 15分)
駐車場 あり (4台)
住所 和歌山市中之島 2313
電話番号 073-427-7985



パッタイ 1000円



カオマンガイ 1000円



チムチュム鍋 1500円

わかやまけん す がいこくじん かた
和歌山県に住む外国人の方へ

みなさまへ

令和2年10月より「和歌山県ごみの散乱防止に関する条例」がはじまりました。

ごみ(ペットボトル、空きカン、空きびん、容器包装プラスチック、たばこをすったあとのごみ、紙のごみ、木のごみ、なべやフライパンなど金属のできたごみ、使わなくなったタイヤなどのいらなくなったプラスチックや粗大ごみなど)は決められた日、決められた種類に集めて捨てます。まちがえて捨てると捨てないように命令されます。命令に従わないと5万円以下のおかねを支払わなければならないです。ごみは決められた日に捨てましょう。

To everyone

From October 2020, the "Ordinance on Prevention of Scattering of Waste in Wakayama Prefecture" was implemented.

Garbage (PET bottles, empty cans, empty bottles, container and packaging plastic, cigarette butts, paper garbage, wooden garbage, metal garbage such as pans and frying pans, and unnecessary plastics such as obsolete tires, oversized garbage, etc.) are collected and thrown away on a fixed day according to the type of the garbage. If you throw it away improperly, you will be ordered not to throw it away. If you do not follow the order, you will have to pay a fee of 50,000 yen or less. Let's throw away the garbage on the designated day.

各位朋友

从令和2年10月起，开始实行「和歌山县关于防止垃圾散乱的条例」了。

垃圾(塑料瓶，空罐，空瓶，包装容器的塑料，烟头，纸屑，木屑，锅类的金属废品，废胎，塑料废品和大型废品等等)要在指定日，并按照指定的种类才能废弃。严格规定不能随便扔垃圾。如果不遵守规定，将会被罚款5万日元以下的罚款。请大家务必遵守规定，在指定的日子扔垃圾。

Para sa lahat

Mula Oktubre 2020, ipinatupad ang "Ordinansa sa Pag-iwas sa Pagkalat ng Basura sa Wakayama Prefecture".

Ang basura (botelya na PET, lata, bote, lalagyan at pambalot na plastik, upos ng sigarilyo, basurang papel, basurang kahoy, metal na basura tulad ng palayok at kawali, at hindi kinakailangang mga plastik tulad ng lumang gulung, sobrang laki ng basura, atbp.) ay itatapon sa nararapat na araw alinsunod sa uri ng basura. Kung itatapon mo ito nang hindi nararapat, aatasan ka na huwag itapon ito. Kung hindi mo susundin ang utos, babayaran mo ang singil na 50,000 yen o mas kaunti pa. Itapon natin ang basura sa itinalagang araw.

GỬI ĐẾN NGƯỜI NƯỚC NGOÀI SỐNG TẠI WAKAYAMA

Từ tháng 10 năm 2020 Tỉnh Wakayama đã cho thi hành Điều Luật “Ngăn chặn việc vứt rác bừa bãi”.

Các loại rác như: Chai nhựa; Lon, chai rỗng; Bao bì và sản phẩm bằng nhựa; Tàn thuốc lá; Rác từ giấy; rác từ gỗ; Rác kim loại như nồi, chảo chiên; Bánh xe cũ không sử dụng hoặc hư hỏng; Và các loại rác khổ lớn bắt buộc phải được vứt tập trung đúng loại, đúng nơi và đúng ngày quy định theo từng khu vực. Sẽ có lệnh nhắc nhở về việc không được vứt rác bừa bãi nếu vi phạm. Khi được nhắc nhở mà vẫn không tuân thủ theo quy định thì sẽ bị phạt số tiền khác phục sai phạm là từ 5 man yên Nhật trở xuống (Tương đương hơn 10 triệu Việt Nam đồng). Vì thế, hãy vứt rác đúng quy định.

和歌山県国際交流センター

TEL : 073-435-5240

FAX : 073-435-5243

URL : [https:// wak-kokusai.jp](https://wak-kokusai.jp)

